

派遣報告書（報告者：）

大会名	令和7年度 九州中学校総合体育大会 バasketボール競技
開催地	久留米アリーナ（福岡県久留米市）
日 時	令和7年8月8日～9日
担当ゲーム1	男子2回戦 江北中学校（佐賀県） v s 北谷中学校（沖縄県）
クルー	御手洗、穴見、若松
担当ゲーム2	男子決勝 玉名中学校（熊本県） v s 中村三陽中学校（福岡県）
クルー	御手洗、藤田、北島
（担当ゲーム）Pre-Game Conference	
両ゲームとも、 1. エッジのないクルーワーク 2. タイマーを含む TO 管理 3. 処置ミスゼロ 4. プライマリーレフリーの IOT 5. ベーシックなメカニクス 6. 私たちが目指すゲームプラン、以上の6項目について、様々なケースを想定しながら、情報を共有しました。	
（担当ゲーム）Post-Game Conference	
担当ゲーム1について、IR より ・CCを中心としたクルーワークが実践されていた ・自分のプライマリーで起きた現象に対する判定がなされていた ・ゲームフローを意識した判定がなされていた ・全員がCCMを常に意識し、いろんな情報に対するアンテナを持つとよい 担当ゲーム2について、IR より ・最終スコアは離れたものの、プレイヤーが最後まで一生懸命にプレイに集中することができていた ・プライマリーを意識したクルーワークが実践されていた ・オフェンスプレイヤーから触れ合いを求めたケースの判定について	
今大会に参加しての感想など	
この度は、今大会に派遣をしていただきありがとうございました。 県大会を勝ち抜いたチームが、全国大会の3枠をかけて戦う、部活動の引退もかかった熾烈な大会でした。 選手・指導者・保護者の熱い思いがコート上でぶつかり合い、最後まで気を緩めることができなかったと思います。 ですが、試合終了時には、関係者全てが惜しみない拍手に包まれてコートを去ることができるよう、クルーと協力して担当することができました。 特に、クルーワークを意識し、各自が自分の最大限の力を発揮できるように努めました。 中学生とはいえ、卓越したスキルや強いフィジカル、想像を超えるスピードを持つ選手が多く、一つ一つのプレイに対して、丁寧な判定をすることができたと思います。 また、プレイ以外でも、中学生たちの一生懸命な姿に心を打たれました。 TOを担当してくれた中学生たちともコミュニケーションをとり、今大会に携わった仲間となれたと思います。 開催地の福岡県協会、久留米市協会の皆様方に対しまして細部に渡るお心遣いに感謝申し上げますとともに、全国大会に向けてさらに良い準備を進めなければならないと強く感じました。	